

1. 事業の位置付け

事務事業名	愛玩動物飼育啓発事業		
事業担当	環境部 環境政策課		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	<input type="radio"/> ハード <input checked="" type="radio"/> ソフト
総合計画の位置付け	03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	02	②〈住みごこち〉 人にやさしい居住空間をつくる	
	01	1 地域の特性や景観を活かしたまちづくりを進める	
根拠法令等	動物の愛護及び管理に関する法律		
対象・受益者	市民、動物の飼養者	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
飼養者自らが適正な飼育管理並びにまちの美化に取り組んでいます。		愛玩動物の飼育者の増加に伴い、飼育モラル向上を図るため、飼育に関する情報提供や啓発を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	パンフレット発行部数						単位	部
	説明・算定式	平成19年度は、平塚市さわやかで清潔なまちづくり条例制定後の配布により、飼育者全体に配布予定である。平成20、21年度は新規登録者に配布予定である。							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			13,000	1,500	1,500			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	ホームページアクセス件数						単位	件
	説明・算定式	市のホームページのうち動物愛護に係るホームページのアクセス件数							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			9,500	9,500	9,500			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果		飼養者の責任は認識されるようになったが、実際のマナーが必ずしも遵守されていない。							
平成19年度の検証結果	B：おおむね成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	動物の愛護と適正飼養に関する飼養者の社会的責任の自覚を促し、動物の飼養に対する地域住民の理解を促進していくために必要である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	動物の飼養者が果たすべき役割の基本、法令を遵守し、動物の生態、習性、生理に応じて、動物を生涯にわたり適正に飼養するという責務を果たすのに有効である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民の主体的な行動なしには実現できない。動物を愛護すべきと思う人と苦手意識や好意を持たない人との相互理解を進め、我慢や対立がなく、受容による調和のとれた関係を築く努力が必要である。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	ホームページ、パンフレット等を通じて、広報・啓発を実施している。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		獣医師会とも連携して動物の愛護及び飼養者の責任・モラルを広めていく。		

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				講座の開催やパンフレットの発行など	講座の開催やパンフレットの発行など	講座の開催やパンフレットの発行など		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.22	0.22	0.22	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	1,847	1,847	1,847	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	1,847	1,847	1,847	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 遵法意識、飼養者の責任、モラルを高揚させる。	
平成21年度 of 取組方針	
引き続き、ホームページを充実し、事業展開を図る。	
課長コメント	飼養者のマナー向上のためには地道なPRが必要であり、あらゆる機会をとらえて普及啓発に努める。